

# 血液検査の採取と発送方法 (Japan)

## 1 血液採取の前に **-International (Japan)**

※この検査キットは医療関係者によって使用されるキットです。自宅では絶対に行わないでください。

### キット内容:



- |   |  |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. FedEx クリニカルパック</li> <li>2. FedEx プラスチック半透明袋</li> <li>3. 検査申請書 (テストリクエスト用紙)</li> <li>4. 箱</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>5. チューブを入れる袋(Vial Sleeve)</li> <li>6. 検体(サンプル)と申請用紙を入れる袋</li> <li>7. 吸収性シート</li> <li>8. プラスチックチューブ容器 (検査によって必要本数がこととなります。詳しくは裏面)</li> </ol> |
|---|--|

#### <ステップ>

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 箱は検体発送の際に必要なため捨てずにお取り置きください。</li> <li>2. 検体容器の有効期限をご確認ください。期限切れのものはお使いいただけません。交換のため研究所もしくはかかりつけの担当医へご連絡ください。</li> <li>3. 医療機関へ連絡をし、血液を採取し、採取後一両日中にご発送ください。</li> <li>4. 検体の到着まで72時間ほどかかります。土日は研究所がしまりますので、なるべく月・火・金曜日を選んで日本からご発送ください。</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>5. 裏面のガイドをご確認ください。</li> <li>6. 検査申請用紙 (テストリクエスト用紙) に情報をしっかりとご記入ください。記入漏れにより検査ができなかったり遅れる場合がございます。用紙はコピーして保管されることをお勧めいたします。</li> <li>7. 医師の指示に従い血液採取を行い、用紙と共に研究所へご発送ください。</li> </ol> <p>※血清の場合は、発送にお時間がかかる場合は冷凍保存してお送りいただいてもかまいません。</p> |
|---|---|

## 2 血液採取をされる看護師・医師の皆様へ

1. 裏面を参考に、検査にあわせ必要なサンプル量を正しいチューブへお願いいたします。
2. 必ずチューブと検査申請用紙に、患者の名前、生年月日、採取時間、日付をご記入ください。

## 3 検体発送の準備方法

1. チューブに入った検体を、Vial Sleeveと書かれた袋(5)に必要な本数分それぞれ入れ、シールで封をしてください。それを吸収シートと共にジップロック状の袋(6)にいれます。
2. 検査申請用紙をたたみ、同じ袋(6)の裏側のポケットへお入れください。その後、箱(4)の中にこの袋(6)を入れます。
3. 下記の用紙へ必要事項のご記入をお願いします:
  - 送付伝票 (FedEx Shipping Air Waybill) : 検査申請用紙の最後にある記入例を参考にご記入いただき、追跡番号をお控えください。
  - コマーシャルインボイス(Commercial Invoice): **税関を通るのに必要な書類となります。3枚コピーをとり (計4枚) FedExの半透明の袋(2)にお入れください。**
4. 検体入りの箱を FedEx クリニカルパック(1)へお入れいただき、しっかり閉じてください。
5. FedExの半透明袋(2)の裏面のシールをはがし、クリニカルパック(1)にしっかりと貼り付けます。
6. 発送伝票 (FedEx Shipping Air Waybill) もクリニカルパックへ貼り付け、FedExへ送ります。

## 発送料金の割り引きについて:

検査キットに同封されている発送伝票 (FedEx Shipping Air Waybill) には、あらかじめグレートプレインズ・ラボラトリーの住所とコード番号が印刷されています。このコードが入った伝票で発送をする場合で、重さが0.9kgを超えないものに関しては、アメリカに荷物が届いた際に、一定料金が研究所の方へ請求されます。発送側ではお支払いいただくことはございませんが、検査料金をご請求させていただく際に、送料も請求させていただくことになります。日本からの送料は\$60でございます。もしこれよりも安い金額で送付できるのであれば、同封の伝票を使わず、ご自身で研究所の住所等情報をご記入いただきますようお願いいたします。また、何らかの理由により研究所に検体が届いた際に検体が容器から漏れていた場合で、検査ができない場合でも、送料はお支払いいただくことになりますので、ご注意ください。

※上記の料金に関しましては、燃料の高騰などにより予告なく変更となる場合がございます。また、お荷物の紛失、破損などに関するいかなる場合でも当研究所では返金等のいかなる責任を負いかねますこと、ご了承ください。

## 血液検査の検体条件とガイドライン

検査名 (カッコ内の数字はチューブの本数)	チューブの種類	各チューブごとの検体量	患者:採取前の注意事項	血液採取の注意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバンスコレステロール(2本)</li> <li>・IgG 食物アレルギー(1)</li> <li>・セリアック病(1)</li> <li>・C-反応性たんぱく質(hs-CRP) (1)</li> <li>・IgE 吸入・食物アレルギー(3-5)</li> <li>・プレアルブミン(1)</li> <li>・連鎖球菌抗体プロファイル(1)</li> <li>・ビタミンD(1)</li> <li>・フェリチン(1)</li> </ul>	青い蓋の空の容器 (赤いラベル) 	チューブ1本につき、 2mlの血清  検査キットの中に複数のチューブが入っている場合がありますが、検査名と必要本数を左表からご確認ください。	24-48時間前は、十分に水分補給をしてください	血液を室温で15-30分ほど固まるまで待ちます(血餅)。15分間1500gにて遠心分離機にかけ、血球から血清を分離させます。5mlの透明のチューブ容器に血清を入れ、しっかり蓋を閉めます。
<b>IgG 食物アレルギー+ IgE 必須食物アレルギー(1)</b>	青い蓋の空の容器 (赤いラベル) 	チューブ1本につき、 3mlの血清  検査キットの中に複数のチューブが入っている場合がありますが、検査名と必要本数を左表からご確認ください。	24-48時間前は、十分に水分補給をしてください	血液を室温で15-30分ほど固まるまで待ちます(血餅)。15分間1500gにて遠心分離機にかけ、血球から血清を分離させます。5mlの透明のチューブ容器に血清を入れ、しっかり蓋を閉めます。
<b>メタル- 赤血球(2)</b>	EDTA入りのロイヤルブルーの蓋 (青いラベル) 	チューブ1本につき、 3ml  x2本必要です	24-48時間前は、十分に水分補給をしてください	15分間1500gにて遠心分離機にかけます。1時間以内にプラズマ(血漿)を捨て、赤血球(RBC)をチューブに残します。採取後2日以内に研究所へ発送ください。
<b>メタル- 全血(1)</b>	EDTA入りのロイヤルブルーの蓋 (青いラベル) 	4mlの血液が必要です	24-48時間前は、十分に水分補給をしてください	10回チューブ内の検体を反転・逆さにします。採取後2日以内に研究所へ発送ください。
<b>銅/亜鉛/セルロプラスミン(1) 免疫不全プロファイル(2)</b>	青い蓋の空の容器 (赤いラベル) 	1本につき2mlの血清 計3ml必要です	24-48時間前は、十分に水分補給をしてください	15分間1500gにて遠心分離機にかけます。4時間以内に5mlの透明のチューブ容器に血清を入れ、しっかり蓋を閉めます。